

## ホームページ掲載文章

【2007年11月から2011年11月に腰椎椎間孔狭窄に対する内視鏡下椎弓根内進入椎弓根部分切除術を受けられた患者さんへのお知らせ】

<腰椎椎間孔狭窄に対する内視鏡下椎弓根内進入椎弓根部分切除術の術後成績などに関する後方視的検討について>

当教室では、川崎医科大学倫理委員会の承認を得て、2007年11月から2011年11月に腰椎椎間孔狭窄と診断され、内視鏡下椎弓根内進入椎弓根部分切除術を受けられた患者さんの経過を検討するための後方視的調査研究を実施します。

当教室の調査実施期間は 倫理委員会承認日より1年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「観察研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
2. 学内研究費のみを使用する研究のため、患者さんに負担が生じる事はありません。
3. 学内研究費のみを使用する研究のため、利益相反は起こりません。
4. 研究に関してご質問のある方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：川崎医科大学脊椎・災害整形外科学 長谷川 徹  
射場 英明

〒701-0192 倉敷市松島 577

TEL : 086-462-1111

FAX : 086-464-1175

電子メール : seikei@med.kawasaki-m.ac.jp